

## I 概要

### 桜井市議会産業建設委員会所属議員行政視察

1 期 日 平成 29 年 10 月 17 日（火）～18 日（水）

2 派遣委員 (委員長) 井戸 良美 (副委員長) 阪口 豊  
(委員) 工藤 行義 (委員) 東 俊克  
(委員) 西 忠吉 (委員) 大園 光昭  
(委員) 工藤 将之<副議長>

以上 7 名

### 3 視察地

1 日目（10 月 17 日）

- ・ 大阪府河内長野市  
河内長野市役所  
烏帽子形公園（現地視察）
- ・ 滋賀県栗東市  
フォレストアドベンチャー  
（現地視察）



2 日目（10 月 18 日）

- ・ 岐阜県各務原市  
各務原市役所
- ・ 岐阜県海津市  
木曾三川公園センター  
（現地視察）

### 4 視察目的

【河内長野市】【フォレストアドベンチャー】【木曾三川公園センター】  
都市公園整備について調査する。

【各務原市】

シティプロモーション戦略プランについて調査する。

本委員会の所属議員は、議会の議決を得て、上記のとおり派遣を許可され、視察事項のとおり研修を行いました。

## II 研修内容のまとめ

### 都市公園整備について（河内長野市）

河内長野市役所において、事業の概要、経緯、事業実績について説明を受けた後、質疑応答を行い、烏帽子形公園にて現地視察を行う。

#### 【河内長野市の概要】

大阪府の南東端に位置し、東は金剛山地で奈良県、南は和泉山脈で和歌山県と接し、北を頂点とした三角形の市域を形づくっている。大阪府内では3番目に広い面積（109.63平方キロメートル）である。その面積の7割は森林で、石川や石見川など河川沿いに平野が開け、北に向かって河内平野に続いている。市域の大部分は砂岩地帯、肥沃（ひよく）な土壌と内陸性の湿潤温暖な気候があいまって、稲や野菜、果樹の栽培に適していると言われている。昭和29年に長野町をはじめとする6町村が合併。南部の山麓地域では奥河内という観光名所が使われ、滝畑四十八滝などの大自然、金剛寺などの歴史的価値のある史跡や建造物などがのこり「文化財のまち河内長野」と称される。大阪都心まで約30分、関西国際空港までは約1時間という交通至便の地にありながら、市を囲む山並みは壮観で、市内に居ながらにして大自然を満喫できることなどから、市制施行以降、市内各地にニュータウン（新興住宅地）が造成され、衛星都市として発展してきた。市内全域において10月2週目にはだんじり祭りが盛んで、様々な形態の祭りが行われている。河内長野市は爪楊枝（つまようじ）の産地としても知られており、全国の生産の大半がここ河内長野で生産されている。

#### ○河内長野市の都市公園について

##### <市内都市公園数>

・総合公園	1ヶ所	・都市緑地	93ヶ所
・特殊公園（風致公園）	1ヶ所	・街区公園	158ヶ所
・緑道	2ヶ所	・近隣公園	5ヶ所
・広域公園（大阪府営）	1ヶ所		
		（合計 261ヶ所）	

市内の都市公園合計面積：201.16ha（東京ドーム約43個分の面積）

市民一人あたりの面積：約18.6ha

※大阪府内の市としては1位の水準！（平成29年3月末時点のデータによる）

#### ◆特殊公園「烏帽子形公園」

主として風致（自然の風景などのおもむき、味わい）の享受の用に供することを目的とする都市公園であり、樹林地、湖沼海浜等の良好な自然的環境を形成する土地を選定し、配置されたもの

⇒自然豊かな里山の風景をとどめる公園

- ・自然観察やタケノコ掘りなどのイベント
- ・遠足、自然散策など
- ・歴史的遺産・・・「烏帽子形城跡」が平成

24年に国の史跡に指定（大阪府内で中世城郭が指定されるのは、昭和9年以来、4件目）



#### ○烏帽子里山保全クラブについて

- ・平成13年から烏帽子形公園の竹林整備（間伐等）をボランティアで行っている。
- ・平成15年に市と協定を結び、協働による整備としている。

#### ○公園の管理

公園河川課の中で、公園係の係員は、現在3名

- ・・・日々の通常業務に追われ、市内の公園・緑地全てを適正に管理することは、現実的に困難



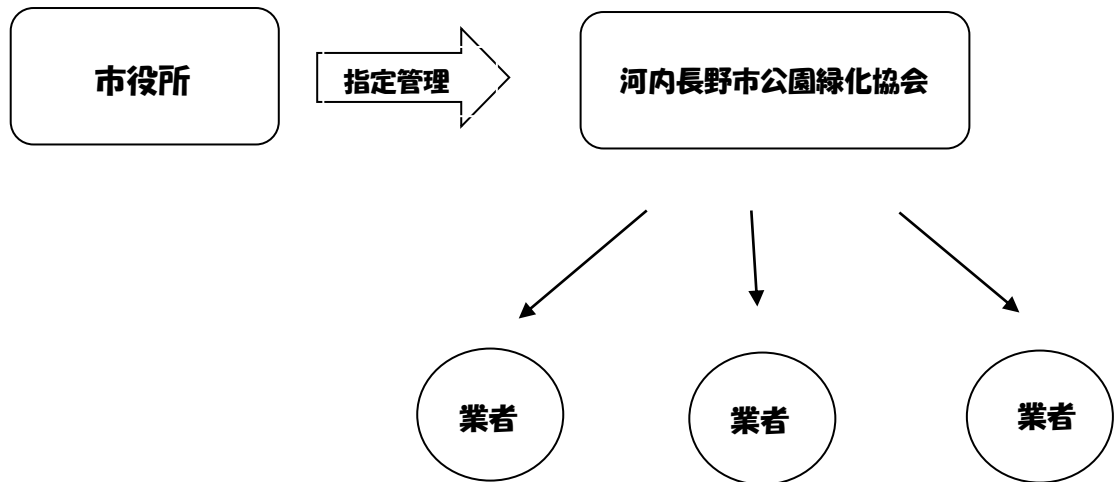
「公益財団法人 河内長野市公園緑化協会」※を指定管理者として指定し、市内の都市公園の管理業務を行ってもらっている。（街路樹の管理も）

#### （公財）河内長野市公園緑化協会

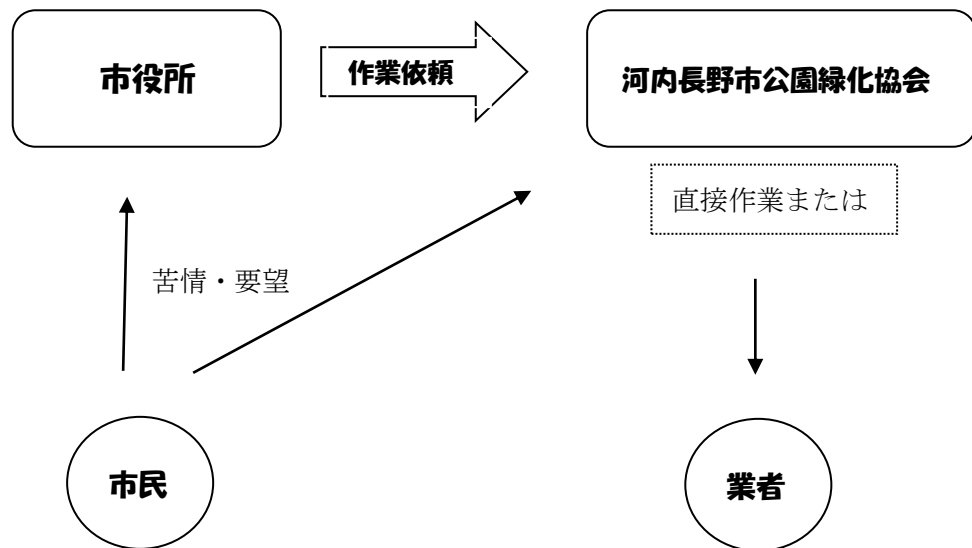
<協会の目的> 河内長野市の緑を増やす事業や都市公園、街路樹等を管理する事業を通して、河内長野市を市民の方がうるおいとやすらぎを実感できる緑豊かな都市にすることを目的とする。

- <事業概要>
- （1）都市の緑化推進、その普及啓発及び調査研究に関する事業  
⇒市民の方への、植物の提供、庭木の相談等
  - （2）都市公園、街路樹等の管理及び利用促進に関する事業  
⇒都市公園、街路樹の管理、公園でのイベント運営等
  - （3）その他公益目的を達成するために必要な事業

○管理体制（除草・剪定・定期点検等の管理業務）



○管理体制（市民の皆様からの苦情・要望への対応など）



○公園の管理① 除草（草刈）について

除草（草刈）作業は、年2回実施する区域と、年3回実施する区域に分けている。

年3回除草を実施する区域・・・

公園及び住宅・道路等に接している場所など、利用者、住民及び通行者等への影響が大きい区域

除草（草刈り）の時期

- ・年2回刈り → 5～7月、10～11月ごろ
- ・年3回刈り → 5～7月、8月、10～11月ごろ

草刈りの時期に関しては市民の方の要望にできるだけ沿うように尽力している。なお、地域住民による夏祭り等のイベントや地域一斉清掃等の連絡・相談があれば、個別に除草の日程調整を行っている。

## 剪定の時期



- ・低木の刈込 → 6月、10月ごろ
- ・中木の剪定 → 6月、10月ごろ
- ・高木の剪定 → 1月～2月ごろ

## 定期点検・清掃など

定期点検（遊具、公園灯などの公園施設）  
年4回実施（5月、8月、12月、2月）  
定期清掃(週に1回、清掃（ゴミのみ）)

## 事前質問

**問.** 駐車場の台数は調べたところ15台程度とあったのですが、ハイシーズンでもこの駐車台数で問題は起こっていないのでしょうか。路上駐車対策などはされているのでしょうか。

**答.** 駐車場につきましては、普通車で14台が駐車可能となっております。現在のところ、駐車台数で特に苦情及び要望等は受けておりませんので、問題は起こっておりません。

**問.** 維持運営について、当該公園はどのような団体に運営管理を委託されているのでしょうか。また、その金額と契約内容を教えてください。

**答.** 市内すべての都市公園については、指定管理者として公益財団法人 河内長野市公園緑化協会が行っておりますので、当該公園についても、公園緑化協会が行っております。契約金額につきましては、平成29年度契約で232,472千円となっております。また、契約内容につきましては、植物管理（草刈・樹木剪定）・施設点検・清掃などを行っています。なお、市内すべての都市公園で契約しておりますので、当該公園だけの正確な金額は分かりかねますが、植物管理と清掃業務だけで4,466千円かかっております。

**問.** 当該公園は風致公園とのことですが、公園を作るにあたって風致公園であるためにやりたいのにできなかったことなどはございましたでしょうか。

**答.** 昭和32年に都市計画決定を行い、昭和45年にはプール前の広場を開設し、昭和60年度から平成17年度まで事業認可を受け国庫補助事業として公園整備を行いました。

その後、12年間経過しており正確なところは



分かりかねますが、ご質問の風致公園であるためにやりたいのにできなかったことについては、特に無かったと聞いております。

**問.** 昭和30年代に公園が建設されたようですが、これまでにどれ位の維持経費がかかっていますか。

**答.** 過去からも当該公園だけで維持管理業務の契約を行っておりませんので、資料がなく正確な回答が出来ませんが、ここ数年の平均として、植物管理と清掃業務だけで、年平均・約440万円かかっています。

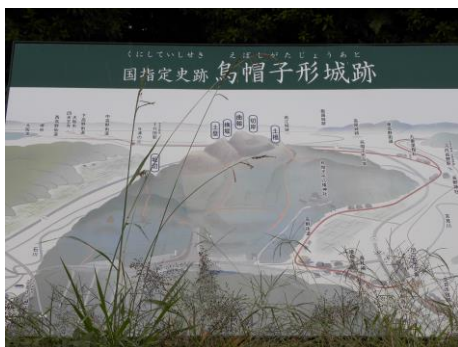
**問.** 都市公園数257ヶ所ありますが、年間の維持費、安全管理の状況を教えてください。

**答.** 平成28年度末で、当課が維持管理しております。都市公園数は259ヶ所となっております。(府営公園1ヶ所・他の課管理1ヶ所を除く。)

当課が維持管理しております全ての都市公園は、指定管理者として公園緑化協会が行っており、その年間委託料は約2億3000万円となっております。内容について、樹木管理として、除草年間2～3回、高木中木剪定整枝年間1回、低木刈込年間1回行っています。また、遊具、公園灯等の施設管理につきましては、年間4回、協会職員にて点検を行っています。なお、遊具について、5年に1回のペースで、有資格者による点検業務を市の方で別途発注しています。

**問.** 今までに、公園内で発生した事故、ケガについて、その件数と内容を教えてください。

**答.** 今まで全てとなりますと、お答えできるような十分な資料がございませんので、申し訳ございませんが、過去10年間(平成19年度から28年度)でお答えさせていただきますと、52件ありました。その件数の内訳といたしましては、自損事故で40件、公園施設の管理瑕疵で12件ありました。



**問.** 烏帽子形公園は風致公園として建設されましたが、平成24年に烏帽子形城跡が国史跡指定されましたが、その後、国からの補助等による整備はされておられますでしょうか。

**答.** 史跡烏帽子形城跡については、平成27年度より平成29年度にかけて国の補助を受けてサイン整備、園路整備、遺構整備等を行っています。

<参考>

国指定史跡烏帽子形城跡

(単位：円)

年度	総事業費		内 訳		備 考
			国庫補助金	市 費	
26	3,974,400	(決算)	0	3,974,400	実施設計
27	9,571,291	(決算)	4,785,000	4,786,291	礎石明示、標柱整備、伐採
28	30,032,866	(決算)	15,015,000	15,017,866	サイン整備、伐採
29	21,922,000	(予算)	12,077,000 ※	9,845,000	サイン整備、園路整備、伐採
計	65,500,557		31,877,000	33,623,557	

※今後、計画変更の予定

問. プールが併設されておりますが、入場料、入場者数の利用状況を教えてください。

答. 施設の老朽化により、安全確保が困難な状態となったことにより、平成27年度の運営を休止し、平成27年度末をもって廃止した。

{	参考：平成26年度利用者数	7,032人	}
	開場期間	7/1～8/31	
	入場料	小中学生2時間 50円	
		大人 100円	
		乳幼児 無料	

【主な質疑応答】

問. 維持管理の竹林整備について、平成13年から里山保全クラブさんにボランティアでしていただいていたのを平成15年に共同に変更したということですが、予算措置がされていますか。また、共同ということなので、一緒に作業しているのか、予算措置というかたちで共同としていますか。

答. 高額な予算措置はしていませんが、たけのこ堀り等のイベントを一緒にさせていただいています。

問. 維持管理について、平成15年まで現場のほうでは新陳代謝というか若返りとか図れていますか。

答. 当初のメンバーの方は若干高齢化が進みましてメンバーの変更はありますが、一部の方は当初から頑張っておられる方もいます。新しい方も増えつつあります。ただ、ボランティア活動なので、活動されるのに時間的余裕のある方となるので、メンバーになられた時点から、60～70近い方がいらっしゃるというのが現状です。

問. 地図の中に烏帽子形八幡神社というのがありますが、今の時期、お祭り等されているのではないかと思います。公園を整備するにあたって、神社からの要望等ありましたか。また展望台等について住民からの要望等ありましたか。

答. そのような記録は残っていないので要望等はなかったと思われます。

展望台については、「家を覗かれるのではないか」という苦情があり、見えないように木で隠す等配慮しました。

問. 公園の種類のうち 防災に寄与してる公園、また、防災公園に指定している公園がありますか。また、下里運動公園でラグビー場等を整備されていますが、市単独の整備か府の補助をうけての整備かどうかでしょうか。

答. 防災公園というのはなく、避難地にはなっています。かまどベンチ等防災遊具を設置してほしいという要望はありますが、現在のところ、計画はありません。下里公園は国の補助を受けて整備しました。

問. セキュリティに関連して、防犯カメラは設置していますか、また、地域のイベントの草刈を、住民自治でこのへんの取り組みをしてもらえるような啓発の取り組みをされていますか。

答. 防犯カメラは市の負担で設置したのは1台のみです。理由は、高台にある公園なので、上から石を投げて家の屋根にあてるという事象がありました。看板を立てて注意を促しましたが効果がなく、地区と話し合いました結果、防止する意味で設置いたしました。設置するにあたって、枝等をどう管理するか、内規を定めました。積極的に防犯カメラを設置していく予定は今のところありません。草刈のほうは、維持管理費がかかりますので、年3回を2回に変更したい旨を地元へ要望しましたが、今は高齢化が進み、地元では刈れないので市のほうで刈ってほしいという話がでています。今後、どのように地元をお願いしていくか課題となっています。



【所 感】

行政視察終了後、視察内容等について勉強会を行った。(最終ページに記載)



## 都市公園整備について（フォレストアドベンチャー【現地視察】）

### 【フォレストアドベンチャーの概要】

フランス発祥の森林アドベンチャーパーク。2006年、フランスのアルタス社と有限会社パシフィックネットワークにより日本第1号のパーク、フォレストアドベンチャー・フジを山梨県の富士山麓にオープンした。当施設は、森を森のまま活用してアドベンチャーパークを作ることができるのが特徴である。利用者は専用の安全装置（ハーネス）を着用し、安全講習を受けた後、コースを周る。時には地上15mまで登り、森の樹間を渡る。地面に降りる時は特殊な滑車を使って空中を滑空する。なお、樹の上では、利用者は全員【自分の身は自分で守る】ことが求められる。アルタス社は1997年よりこの施設の設計加工・運営を始め、全世界で100箇所以上のコースを手掛けている。日本でも有限会社パシフィックネットワークとともに全国に展開しており、多くの方が利用している。大規模な開発を必要とせず、【森を森のままの姿で利用できる】フォレストアドベンチャーによって遊休森林の有効利用、リゾート施設やスキー場のさらなる発展が期待できる。また、2015年より、すべてのホイールスポーツで利用できる移動、組み立て式のモジュラーパンプトラックの展開を始めた。この画期的なモジュラーパンプトラックもフォレストアドベンチャー同様、使用されていない遊休地に大規模な開発なしに魅力的な体験型施設を作ることが可能である。



## いかに自然と共生できるか？

### 環境へのダメージを最低限に抑えられるか？

フォレストアドベンチャーを設置する際に、最も大事なことは、いかにその場所の自然を生かしたコース設計と施工ができるかである。また、コースを設置するための間伐や下草刈りにより、コース設置後に驚くほど元気に森が生まれ変わる。樹の健康状態がとても重要となるため、樹々はとても気を使って取り扱われる。いかに自然と共生できるかがフォレストアドベンチャーのコース作りのテーマである。

## 人気の秘訣は？

自然の森の中の、非日常空間でとても楽しくエキサイティングな体験ができる。また都会で生活している人たちにとっては森の中で過ごすだけでも気持ちがよく、これは近年、森林セラピーとして、健康増進の効果が実証されている。年齢に関わらず、家族、カップル、グループ、また小学生でもプロのアスリートでも楽しめる。特別なスキルを必要とせず、安全に誰でも楽しめる冒険だからである。

# 運 動

Exercise

Why is this activity so popular ?

## 森林浴

Forest therapy

## アウトドア

Outdoor

### アドベンチャーコース

スタンダードコース。ダイナミックなレイアウトと森の特徴を生かしたコース設計。

利用可能条件：身長140cm以上または小学4年生以上

所要時間：2～2.5時間程度

利用料金：2,500～3,600円

### ディスカバリーコース（セルフビレイ）

### キャノピーコース（コンティニュービレイ）

### ガイドコース

安全システム（ビレイ）の違いにより、名称や利用条件が異なる。セルフビレイを採用したディスカバリーコースでは、18才未満の利用者は保護者の同伴が必要となり、コンティニュービレイシステムを採用したキャノピーコースは、子どものみで利用できるため、学校団体などの集客に効果的である。

利用可能条件：身長110cm以上かつ5才以上

所要時間：1～1.5時間程度

利用料金：2,100～2,600円

## ジップトリップコース

ジップスライドを主にして構成される。地形をうまく生かすことでインパクトのあるコース設置が可能。条件がそろえば最長500mのロングジップスライドが実現でき、集客に絶大な効果が期待できる。

利用可能条件：身長110cm以上かつ小学1年生以上

所要時間：1～1.5時間程度

## どんぐりコース・自然木を活用した遊具・クリフチャレンジャー

フォレストアドベンチャーの付帯施設（サブコンテンツ）があると、より魅力的な施設となる。幅広い年齢層に森を楽しんでいただく為のアイテムである。フォレストアドベンチャーと同じコンセプトで自然と共生できる施設。

## フォレストセンス

森の散策コース。テーマは「五感を通して森を感じる」こと。各所に五感を刺激するアイテムを設置し、時を忘れて散策を楽しむ。樹上に登り鳥の目線も体験できる。コースの取り方によっては車椅子での利用も可能である。

### パーク開設のためのQ&A ～企業向けパンフレットから抜粋～

Q. どのくらいの広さが必要ですか？

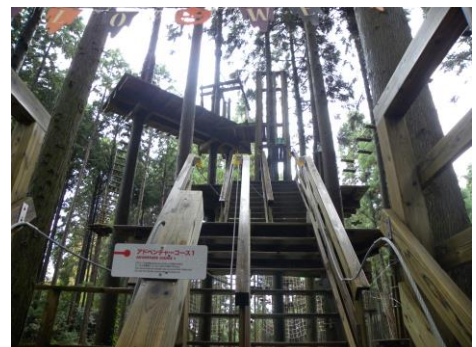
A. 1ha程度の森で設置可能です。広ければ将来増設などの時に役立ちます。

Q. 木があまり太くないけどOK？

A. 森の環境がコースを左右します。最低でも直径30cm以上は必要です。大きくなれば大きくなるほど、ダイナミックで高さのあるコースが可能です。木がない場所でも人工の支柱を立てて、コースを設置することも可能です。

Q. 傾斜がきついのですが・・・？

A. 木の上にコースを設置しますので、地面はほとんど関係ありません。起伏があったり、谷があったりした方が、変化に富んだコース設計ができます。



Q. このような施設の運営経験がありません。

A. フォレストアドベンチャーの商標使用契約を結ばれた方には、5～10日間のスタッフ育成トレーニングをご提供いたします。またオフィシャルウェブサイトやオンライン予約システムを利用することで、経験がない方でも当社のサポートを受けながら、開業することが可能です。



Q. 設計だけしてもらえますか？

A. 申し訳ございませんが、現在このようなリクエストには対応できません。非常にリスクのある施設なため、当社が関わるプロジェクトは全て設計と施工が一体となっております。



Q. 許認可等が不安です。

A. 当社が関わった過去の事例の中から、様々な条件で対応していくことが可能です。この面でもできる限りサポートさせていただきます。



## フォレストアドベンチャー関連施設設置実績

### 森林活用ビジネス

日本の森林は荒廃している。林業の後継者不足やビジネスとして成り立たないと判断されたため、森が整備されないまま放置されているからである。フォレストアドベンチャーの強力な武器は、【森を森として生かしたまま集客施設に変えることができる】ことである。フォレストアドベンチャーは、ある一定の樹の条件さえ満たせば、いままで使い道がなかった傾斜地の森等も有効活用することができる。コースの設置には大規模な造成工事や開発行為は必要なく、間伐し、下草を刈るだけである。このコース設置のための整備が環境を蘇らせる。森に人が集まり、ビジネスが生まれることで雇用が生まれ、利益が生まれる。この利益の一部がその周囲の森を整備する財源となる。つまり自立した「継続できる森林維持活動」が可能となるのである。これを新しい森林活用のビジネスモデルとする試みが評価され、平成17年・18年に林野庁の【森業・山業創出支援総合対策事業の優良ビジネスプラン】に選ばれた。

## パーク開設まで

- 1 s t Step : 現地調査、候補地の調査、ターゲット、コースの種類、規模等の打ち合わせ
- 2 s t Step : 設計、測量。
- 3 s t Step : 設計図書提出、調整後、ご承認の上、ご発注
- 4 s t Step : 資材準備及び間伐、下草刈り等の環境整備。
- 5 s t Step : 樹上作業、コース設置。併行してランディングバーン、遊歩道、受付小屋、トイレ、駐車場等の整備。
- 6 s t Step : 竣工検査。
- 7 s t Step : スタッフトレーニング。

## 事前の質疑応答

1. 各地域別に収益状況を教えてください。

<回答>

「フォレストアドベンチャー 箱根」

40,000人～45,000人が来場

平均3,000円/人で計算すると

120,000,000円の収益

「フォレストアドベンチャー 糸島」(福岡県)

年間30,000人が来場

平均3,000円/人で計算すると

90,000,000円の収益

※フランチャイズ事業形態の施設については収益の把握をしていない

※事業展開を始めて11年間でフランチャイズ事業形態含めて150万人～160万人の来場者

2. 安全対策と過去の発生件数とその内容

<回答>

・安全対策について

装着するハーネスについて毎日毎月毎年の点検項目が定められており、項目がクリアできないと開店してはいけないこととしている。

・事故の発生件数とその内容について

死にいたるような事故はゼロである。捻挫等は20件に満たない件数

3. 林野庁からの補助事業の実績と補助金の種類を教えてください。

<回答>

平成17年8月 「林業産業創出支援事業」の優良事業として認定を受けた経緯はあるが、補助金はもらっていない。



4. 施設の設置に必要な面積、適切な面積や条件がありますか。

<回答>

保安林の作業申請にかかる面積規定が 1ha 以内となっているため、すべての施設が遊歩道等含めて 1ha である。

杉、ひのき、松 が適している。駐車場としてのフラットな土地とトイレがあれば理想的である。

#### 【主な質疑応答（概要）】

問：ケーブルの強度はどれぐらいですか。

答：13mm。130kgの人がぶら下がっても大丈夫。橋等に使っているケーブルを使用しています。ステンレスでさびません。

問：渡している板は交換しますか。

答：防腐防虫剤を染み込ませた状態で使用しています。基本的には10年ぐらいもちます。1年目の施設でも9割そのまま使用しています。

問：冬のアトラクションとしてコースの内容変更はしますか。

答：コース改修は、修繕という意味の改修やお客様の飽きの解消や難しいアトラクションの混雑解消等リピーター確保のためが多いです。

問：事故はありますか。

答：現在店舗が25箇所あり、1番古いところで11年目になりますが、ゼロです。事故については厳しく対応しています。行政が運営されている店舗もあり、危惧される部分でもあります。問い合わせのある会社からはやはり安全第一を気にかけておられます。

問：ここは、国定公園ですか。

答：国定公園ではなく、保安林です。箱根の店舗は国定公園のなかに入っています。

問：足場していますが、樹に負担がかからないのですか。

答：1番最初に樹木師さんが入って点検しています。

問：子どもの利用で怖がって進めない時などありますか。小学校からの参加の場合でそのような場合はどうされますか。

答：大人でもありえますが、泣いてしまう子もいます。その時は学校の判断に任せています。やらせない選択のほうが多いです。

問：予約制ですか。

答：予約優先です。運営に関して、どうやって回転させていますかという質問がよくありますが、一日最大300人。朝9時から午後3時まで30分刻みでゴルフのように進んでいきます。前後の様子を見ながら入れ替えたりします。



問：高齢の方も大丈夫ですか。

答：私の経験の中で最高齢77歳。体重の問題だけなので、年齢の上限はありません

問：これは会社が借りてやっているのですか。行政側の負担はありますか。

答：この栗東に関しては、コンゼ生産森林組合と賃貸契約を結んでいます。貸した側に負担はありません。何年契約にするのかとか、万が一会社が倒産した場合に山の保全をどう戻すか等の契約を結びます。契約の仕方は他にもあり、小田急さんの場合は、投資が小田急さんで、1施設5千万近くかかります。その代わり売り上げの一部を支払う契約もあります。5千万の中には、ハーネス等の消耗品や足まわり、地ならしの費用は含まれません。保安林じゃないところはログハウス調に作っていて、保安林の場合は国定公園ではありませんが、法の規制が厳しいので、建築物の基準の関係上、土の上に建てられないのでどうにか吊

って設置しています。保安林でも、樹に制限はかからない地面に制限がかかっています。類似施設が3、4会社あり、人工柱といって電信柱を茶色に塗ってケーブルを張れば弊社と同じですが、人工柱は1本、1千万円かかります。一本では成り立ちませんので何本も柱を打つとなると莫大な費用がかかり、それなりの広さも必要となります。例えば、桜井市さんでの話になると現場へ行って、まず見るのは「樹」です。樹が、ある程度太くないと安全上できませんので、樹を確認します。また、運営していく中で1番お金がかかるのはインフラ整備なので、お手洗いと水道が近くにあるとまず話を進めやすいと思います。年間30～50ぐらいの問い合わせをいただいています。運営を開始するには約2年かかります。

問：料金はいくらですか。

答：大人3,600円 子ども 2,600円。家族で半日1万円以上かかるので、これをどう売り出すかが課題となっています。

問：コース作成にかかるどれぐらいの期間がかかりますか。

答：一ヶ月半かかります。



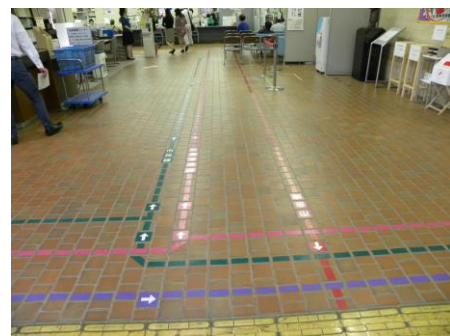


## 「シティプロモーション戦略プラン」について（各務原市）

各務原市役所において、事業の概要、経緯、事業、実績について説明を受けた後、質疑応答を行う。

### 【各務原市の概要】

岐阜県の南部、濃尾平野の北部に位置し、中山道の宿場町として栄え、近年は自衛隊岐阜基地などに関連する工業都市として、また岐阜市や名古屋市のベッドタウンとして発展を遂げた人口で岐阜県第3の都市（87.81平方キロメートル）。市内には岐阜大学農学部跡地に造られた各務原市民公園をはじめとする多数の大規模な公園緑地があり、「パークシティ＝公園都市」を目指すことを市のまちづくりの政策として掲げている。主な産業は、工業出荷高が県内第2位であり、飛行実験隊に位置づけられている航空自衛隊岐阜基地に隣接する川崎重工業航空宇宙カンパニーの航空機工場などの関連航空機部品企業群、自動車関連工場など輸送用車両機器、金属団地にはその名の通り金属加工企業が群立している。

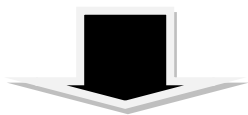


市役所玄関ロビーの窓口案内の床表示

○シティプロモーション推進事業

**なぜ今、移住定住促進なのか**

**2040年までに896の自治体が消滅する  
日本創生会議(増田寛也座長)**

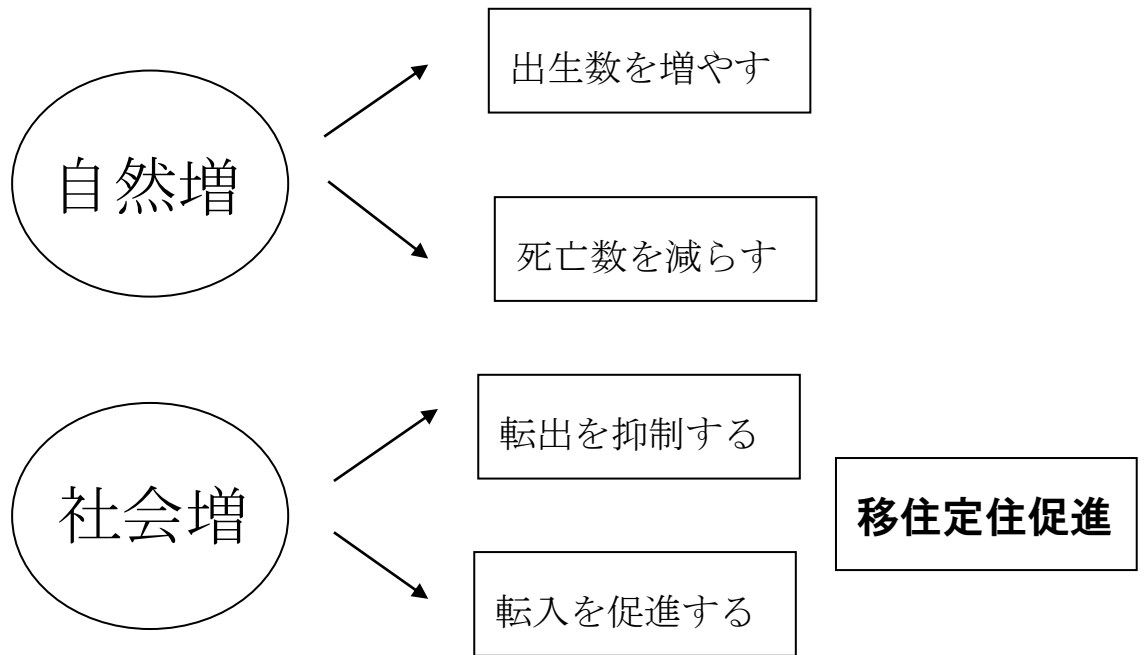


**地方創生の動きが活発に**

○地方創生とは・・・

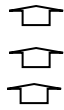
東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした一連の政策

○人口を増やすためには



**目的**

移住定住促進



**手段**

住環境の整備

教育環境の整備

子育て支援施策の充実

シティプロモーションの推進

○各務原市のシティプロモーションについて

## シティプロモーションの必要性と目的



各務原市のブランドイメージを確立し、  
移住定住人口の増加につなげる

○計画策定の経緯

**H26年度 ブランドビジョン策定**



**H27年度 シティプロモーション戦略プランを策定**



**H28年度～ アクションプラン実施**

○ブランドビジョン策定

職員によるプロジェクトチームでワークショップ

各務原市の強み、弱みなどを洗い出し



都市ブランドの価値を高める指針

# かかみがはらブランドビジョン

ブランドコンセプトを具現化するための3つの柱

- ① 空で育つ                    雇用  
                                 産業  
                                 専門教育  
                                 飛行機の歴史・未来
- ② 台地で育つ                自然・景観・住環境  
                                 安心・安全  
                                 水・エコロジー  
                                 歴史・伝統
- ③ 自分らしく育つ         イベント  
                                 生涯学習活動  
                                 文化・芸術  
                                 スポーツ

○シティプロモーション戦略プラン策定

## 価値共創という考え方

市に関わる全ての人々の、まちへの誇りや愛着を醸成することにより、まちと人とのつながりを深め、まちの魅力を創り上げていく。

まちの魅力を共感し、価値を高め、ヒトのつながりを軸に、SNSで情報発信していく。

**まちへの誇りや愛着      =      Civic Pride (シビック・プライド)**

## メインターゲット

- 年齢                         : 20～30歳代
- エリア                      : 東海3県（愛知県、岐阜県、三重県）
- 属性                         : 結婚・出産・子育て世代
- ライフスタイル : 生活にこだわりがある人、感性豊かな暮らしを求めている人

## キャッチコピーの意図

市と関係するすべての人々で創りあげる各務原市の上質な暮らしを「かかみがはらclass」と表現。

classは、一流、上品、ランク、種類など、各務原市のちょっといい暮らしを表し、市内で「暮らす（クラス）」ことを想起する言葉とする。

## シティプロモーション戦略プランの体系

基本理念

価値共創

キャッチコピー

方策

魅力づくり

共感づくり

3つの柱に関連づけた事業を、良好な都市イメージの形成につながる取り組みとして実施

行政だけでなく、市に関わるすべての人がSNSなどで、市の魅力を内外に発信

アクションプラン

アクションプラン

## CASE. 1

### OUR FAVORITE THINGS

若い世代をターゲットにした野外音楽フェス。  
出演者ブッキング、企画、運営などは市職員と市民ボランティア。  
「各務原を知ってもらおうきっかけになれば・・・。」

## CASE. 2

### マーケット日和

「学びの森」、「市民公園」、「中部学院大学各務原キャンパス」を会場に開催。選りすぐりの150店が出店。ライブ、講演会、ワークショップ、古本市などの催しも。  
モノ/ヒトの出会いを楽しむマーケット要素だけでなく、本、音楽、アートなどの文化的コンテンツも味わえる。

## 企画運営は市民ボランティア



自分たちの住むまちをより楽しくしていきたい……………

## 《かかみがはら暮らし委員会》設立

“KAKAMIGAHARA STAND”開業、運営

「ほしぞら日和」「ハイキング日和」開催

### OUR FAVORITE KAKAMIGAHARA

移住定住ウェブサイトの活用

市外をターゲットに、市の魅力を発信。

ボランティアの市民ライターが、企画から取材、編集まで担当。

Facebook、Instagram、Twitterなどと連携して情報を拡散。

## KAKAMIGAHARA OPEN CLASS

### 移住定住総合窓口の設置

各務原市への移住定住を考える方に向けた「ちょっといい暮らし」の情報発信スペース「KAKAMIGAHARA OPEN CLASS」。

各務原市内の不動産会社と連携して、移住定住のための住まい探しをサポート。

各務原市で活躍しているイノベーターのワークショップやトークセッションを通じて、暮らしや働くヒントを見つけます。

### <背景>

イオンモール各務原は、年間1,300万人の来館があり、その6割が市外。20～30代の子育て世代が多く、各務原市への移住をアプローチすべき方が多い状況である。

### 【主な質疑応答】

**問：**親子フェス、マーケットビューの予算はいくらですか。

**答：**親子フェスは実行委員会への負担金が350万円です。かかる経費はおよそ1,000万ですが、協賛金、チケット収入、グッズ販売等の収入があります。マーケットビューは300万円で出店料でまかないながらしています。

**問：**かかみがはら暮らし委員会への助成も含まれますか。また、デザイナーとかプランナーがいらっしゃるのですか。

**答：**助成金には含まれません。補助金等に頼ると縛りがあり、思うことができないので自分たちで思う活動をするためです。委員会委員には、美容院のオーナー、雑貨店の店長、飲食店のオーナー、デザイナーの方がいらっしゃいます。

**問：**このような取り組み（SNS発信）のなかで、苦労した点はなんですか。また、間違った情報が流れることはありませんか。

**答：**フェスを始めて10年になりますが、最初は市外の方ばかりでしたが、会場を広げることで来場者も増え、その後の定住促進事業につながることになったので結果的によかったのではないかと考えています。市民ライターさんを書いていただく原稿は市がチェックして



からホームページ掲載を行っています。

**問：**このような思いきった取り組みについて、プロジェクトチームの人数及び平均年齢はいくつですか。

**答：**ブランドビジョンを作る時は10名程度で係長級の職員でした。戦略プラン（ソフト面）の時は若手職員10名程度で、行動力のある若手が好ましいのではないかと思います。

**問：**庁内全体で取り組まれたということですが、チームのなかで市外の職員は何%いましたか。また、ウェブサイトのメンテナンスはどうされていますか。

**答：**市内職員の比率は、69%。ウェブサイトについて昨年立ち上げたが専門家に頼んでいるところもあり全体で40万程度です。

### 【所 感】

プロジェクトチームを若手職員で構成し、ターゲットを若者に絞った各務原市の思いきった取り組みには感銘を受けた。なおかつ、安価の予算で取り組んでいる。市長の年齢は45歳と聞いて納得もできるが、桜井市でもこのような若手職員を育てるべきであると感じた。





## 都市公園整備について（国営木曾三川公園センター【現地視察】）

当公園は、木曾川・長良川・揖斐川の木曾三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用し、東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に応えるために設置された公園。国営木曾三川公園で開園している13拠点の中で、木曾三川公園センターは最初（昭和62年10月）に開園。



### 国営木曾三川公園の概要

全体事業面積：469.1ha（平成29年9月時点）

併用面積：288.2ha（平成29年9月時点）

総事業費：822億円（H29以降 167億円）

（進捗率 約80%）

拠点数：開園13拠点／全13拠点（H29.3末）



～視察を終えて～

## 「産業建設委員会行政視察勉強会」

平成29年11月15日（水） 午前10時～ 於）第1委員会室

<参加者>

- ・ 札辻 輝已議長
- ・ 産業建設委員会所属議員（行政視察参加議員）  
井戸良美委員長、阪口豊副委員長、工藤将之副議長、東 俊克委員、  
西 忠吉委員、大園光昭委員
- ・ 議会事務局 視察随行者（後藤文彦議事課長、石古幸子議事課主幹）
- ・ 理事者  
松村喜弘都市建設部長、山田誠一都市計画課長、高田裕子事業施設係長

### 【会議内容】

今回の行政視察内容の「公園整備に関する調査」について、視察の概要（議会事務局）と鳥見山緑地公園の整備の現況について（理事者）説明があり、その後、委員から視察の感想や質疑、要望を行った。

### 【質疑内容】

**委員**：鳥帽子形公園は15台程度の駐車場しかなく、現状を尋ねると満車になることはないということであったが、河内長野市は調べてみると公園がたくさんある。鳥帽子形は城跡を利用しているので開けた公園ではないが、そうでない公園がたくさんあるので、それを理由に15台という台数なのかと想像するし、担当職員もそう説明していた。どう考えても鳥見山緑地公園は駐車場が足らなくなると思う。橿原市の東竹田の公園は複合施設であって、単純な比較はできないかもしれないが、土日はいっぱいである。22家族ではすまないくらいである。80%は車で来ていると思われる。フリーマーケットやバーベキューができるとなっているが、やはり駐車場足らないのではないか。また、バーベキューは、勝手に来てできるようにするのか、管理者をおいてやるのか。その場合の臨時駐車場に進入する際の柵をはずすオペレーションは誰がするのか。

**理事者**：市道挟んで反対側に臨時駐車場ということで15台確保する予定である。計37台の予定である。駐車場は県道のほうから入るようにしてほしいという地元の要望があったためにこの位置にしている。

管理については、これから設置する設備の状況に応じて指定管理等を考えていく。

**委員**：視察先では有料とされていたが、資金計画を考えたとき、当公園も有料化することで管理もしやすくなると思う。安全面に関しても管理者を置くほうが子ども等に対してもより安全である。なおかつ、有料にしたとしてもよりよいものができる。また、基本計画をつくるまでに市民アンケートをされたと思うが、実施計画のときに再度市民アンケートをとる検討はされているか。

**理事者**：有料化は今のところ考えていないが、設備によっては部分的に有料ということも検討させていただく。市民アンケートは期間的に厳しいので考えていないが、地元の住民の方の意見や議会等の意見を集約して、予算に制限があるので、取捨選択して設備について決めていきたい。

**委員**：駐車場のことで、市内市外の保育所や幼稚園の遠足に使われることになると思うが、バスの駐車場の確保も考えているのか。

**理事者**：計画はしていない。検討していきたい。

**委員**：バスの駐車場となるとアスファルトをどれだけしないといけないのか。間口を広くとらないといけないと思う。

**委員**：この計画は納得がいかない。観光バスを止める駐車場もはじめから考えていないのでは公園をつくる気があるのか。遠足に行く場合は、宇陀アニマルパーク、橿原昆虫館、広陵町馬見公園等、所在地外へ行っている。鳥見山緑地公園も市外からでも来てくれる公園にすべきである。時間かけてでもよいものをつくるべきだと。傾斜があっても信貴山のどか村は芝生化をして、人がたくさん来ている。塩漬けの土地をなんとかしたらいいという考えではやる意味がないと思う。

**理事者**：実施設計は修正過程ですので、散策道も巡れるように修正している。

**委員**：道を拡充しているだけではないか。散策道はせめて周回できないといけないのではないかと思う。この計画をみていると1番北の散策道が既存の道に出て、多武峰線に出ているが、それも修正していくということか。

**理事者**：現場を見ると、確かに危険なところがあるが、危険なところを避けてもう少し散策道をつくれるはずである。



**委員**：散策道の北の出口の勾配を見たら、よほど南へ降りてくるほうが、緩いのではないかと思ってしまう。グランドゴルフのほうへ降りてきたほうが緩いんじゃないかなと思うが、急な階段案件のほうで提案してきているのが意外である。修正をかけるということだが。

**理事者**：散策道は巡らせるかたちで修正かけている。

**委員**：多目的広場はどのくらいの広さか。

**委員**：1ha ぐらい。

**委員**：木曾三川公園ぐらいの広さか。

**委員**：現地視察した部分の3分の2ぐらいの広さ。

木曾三川公園ほどはない。

**理事者**：基本計画では果樹園を予定していたが、少なくするように考えている。果樹園の必要性はないだろうという意見があったので、果樹園をなくして芝生広場にしてもよいのではないかと思っている。

**委員**：車で2，30分の近隣には大きな公園がかなりあって、これだけの整備をして桜井に来るきっかけになり、この地域や環境を知ってもらって、「将来的にここに住みたいな」というところにつながっていかない限り、なかなか（造る）意味がないのかなと思う。健康増進という面もあると思うが、そのなかで、この公園は何をターゲットにする公園なのか。今、インスタの写真をとるのに東京へ行きましょって宣伝しているわけですよね。今の事由（流行）だけをいうとそういうことになる。木曾三川公園でも若い子が写真をとっていた。しかけがあればいいわけで、100の規模のものを10に縮めるのではいけない。コンセプトはあるのか。

**理事者**：高齢者だけでなくあらゆる年代の方の健康増進に使っていただけたらと思っている。風致地区なので、自然景観を感じて自然とふれあう。展望デッキをつけて大和平野等を眺めていただいて太古を偲ぶというのをテーマに掲げている。ローラー滑り台を目玉に考えている。

**委員**：ローラー滑り台は何歳から何歳対象か。目玉というのならきっちりとした計画をたてないといけないと思う。

**理事者**：導入を考えている製品は6歳から。ひとりで滑れる年齢である。



**委員**：管理料はどれぐらい想定しているのか。仮に500万必要だとしても毎年必要になってくる。有料化は考えていく必要があるのではないか。天理の駅前も有料としている。管理計画をしっかりと立ててほしい。

**理事者**：費用負担については慎重になるべきである。有料化で回収できるものがあるはずである。

**委員**：バーベキューでも、電気料金をいただくというのも、今の時代ではありだと思う。

**委員**：金屋の河川敷もしかり。バーベキューに来られているが始末が悪い。やはり、バーベキューをする場合は管理が必要である。指定管理をして料金をとるべきである。当公園は山なので火災の危険性もある。

**委員**：お金の話だが、目にみえるもの、たとえば駐車料金とか、料金的なもので得る収入もあっていいと思うが、せつかく行政なのだから、いろんなサービスをしているわけで、たとえばこれを造ったことによって、もう一歩進んだ経営管理していただきたい。これを造ったことによって、じゃあ、どれぐらい桜井市では介護予防が進んだのかとか、もし、それが進んでいなかったら我々はどれぐらいの税金を負担しなければいけなかったのかとか、もしくは、これをきっかけとしてここに住みたいと思って引っ越して来られたときにどれぐらい税収が上がるのか、アンケートをとりながら、平均単価でいいので、そういうことをもっともって進めていって、こういうものの評価をしていかないといけない。天理では、単純に「コフフン」に人が集まっているけども、あそこでごはんを食べる人たち、それから天理におでかけに行く人たち、という経済効果を考えていって、あそこは10なん億円だせてるんだと思う。ちょっとそこは、都市計画課だけでなしに、広い範囲で経営計画というか、見えないところの資金計画というのをぜひとも考えていただきたい。芝刈りを地域の方をお願いしてそれが仕事になって、その方が健康になるというのは多分にあるので。介護保険が一人減ったら220万円減る。そのうち桜井市が負担するのは4分の1ですが。10人で50



0万であれば経営できるのではないかというような夢のある考え方をして、もちろん、それを目指しながら、広報しながらというのをやっていただければなと思う。そういう風潮を桜井市全体でトータルの経営というのを根づかせていただくきっかけにしていいただければありがたい。

理事者：まず、造るにあたっては費用対効果の算定は交付にあたっての制限があるので定められた方法でやっていくが、ランニングコストについてはそういうものがないのでそういう仕組みはつくっておくのは大事だと思うのでそうなるように考えていきたい。

委員：この近くに小学校、幼稚園がある。最近幼稚園でも園の中は狭いから他の場所で運動会をされている。芝の運動公園とか。そういう貸し出しとかできるのか。運動会だけでなく、ここに書いているフリーマーケットとか。ある団体がフリーマーケットするのに、ここを1日3万円で貸してもらえませんかとか。そういうようなことは想定されていないのか。

理事者：いろんな催しをされる場合もあるので自由に使えるスペースは確保できるかなど。それについては利用状況によるが、基本的にはそういう活用はしていただけている。

委員：風致地区なので料金はとれないとかそういうことはないのか。

理事者：現在も他の公園でも公益以外の利用は使用料いただいているので公園にも適用されるため可能である。

委員：散策道で周回できるが、幅はどれぐらい考えているか。展望デッキで万が一急病が出た場合、救急車が入る道幅があるのか。

理事者：散策道は1.5m。

委員：担架で運ぶ必要がある。本来なら2.5m必要。バーベキュー設備があるのであれば火災の可能性もある。

理事者：そこまでの散策道は考えていない。高低さがあって、一部階段にしないといけないところがある。

委員：他の散策道はどれぐらいか。烏帽子形公園は2トントラックがいけるようにしている。有事の際のことを考えていただきたい。一番奥まで入れなくてもいいので、手前ぐらいまで。それなりの対応していただきたい。

理事者：烏帽子形公園で有料にされている施設はあったかどうか。

委員：プールが併設されていたが、今は閉鎖されていた。木製遊具は管理が大変なので、金属に変更したとのことである。



委員：グランドゴルフの場所は必要か。毎日使うのならまだしも、他の公園でもそのような設備はなかったように思う。もっと有効的な利用はできないのか。ゲートボール人口が減ってチーム解散しているところが増えている。健康増進ということだが、散策道もあるし、他のことに利用できたらどうかなという思いはある。

理事者：一番低いところに多目的グランドとしているので、多目的に使っていただくようにしている。

委員：この公園の敷地のなかで、地図で上のほうのどこかでアスレチックはできないのか。

理事者：今のところ、北側が若干なだらかなエリアがあり、そこにアスレチックをつくる予定である。

委員：フォレストアドベンチャー栗東は1ヶ所5,000万である。下刈りとか通路は別にして、あのような規模で。民間で採算事業ではあるが。我々行かせてもらって、いろんな規制があるが、立ち木をうまく利用してツリーハウスを造ったりとか、子どもが喜ぶであろうし、心配な事故はゼロという。しっかりとしたハーネスでできない子どもにはさせないけど、民間でしっかり経営している。いろんな店舗をもっているの、集客しているな。検討する価値はあるのではないか。ここは有料で、現地も無償で見に行くとやっている。見積もりする場合は費用がかかるが、この一角でできるかできないかは見に来てくれる。太さも高さもいるだろうし、この中の樹が使えるのかどうかわからないが、検討していただきたい。

理事者：琵琶湖バレーでも考えておられるなど。観光会社も入っている。

委員：どれだけ宣伝できるのかということである。

委員：これは周遊の散策にしていけないと思う。倉橋のため池は、景色もいいし、結構、車で来て散策しておられる。給食センターの跡地はどうなっていくのか。拡充するのか。南幼稚園の駐車場は市の土地なのかどうか。

理事者：河西区の土地である。

委員：駐車場が狭いのであればこういったところ、沿道で出てくるところにもなるので。

公園のなかのトイレは下水なんかひかないですよ。

理事者：浄化槽にしても配管していかないといけない。2ヶ所のトイレについては下水でいきたい。

委員：もうすこし跡地利用等で幅を広げた公園を考えて跡地利用等フルに活用していただきたいと思う。

委員：周回するとどれぐらいの距離か。

理事者：外周が1.7kmなのでおそらく1km程度。

委員：倉橋ため池で4kmある。

理事者：フラットな敷地であれば外周ルートやもっといろんなルートができるが、山間なので道がつけられないところもある。外周は構造的に難しい場合もある。詳細設計でできるだけいくつかのルートを考えていく。階段もあるルートもできるとは思いますが。

委員：階段があってもいいと思う。烏帽子形公園はルートがかなりあった。行って飽きないようなルートにしていきたい。

委員：行って戻るとかいうより違う景色を見るという感じで。標高200mか。

理事者：80mか90mの丘になっている。

委員：先日の台風で何も被害はでていないのか。整備してから、大きい雨が降ってせっかく整備したのに崩れたら、地山が見えているところが気になる。

理事者：一番北の端のところ土砂が崩れたところはある。

委員：現場へ行けないのでドローンで飛ばすかしかわからない。上のほうで崩れている可能性もあるのでは。

理事者：総事業費が決まっているので、優先順位を決めて、相談させていただいて、整備していきたい。

委員長：今後、時間をかけても、しっかりと協議していきたい。



